

ベナン月報(2018年2月)

主な出来事

【内政】

- 10日, パラクにおいて第2回 FCBE(新興ベナンに向けた勢力)総会が開催された。ヤイ・ボニ前大統領が出席し名誉会長となった。同総会で FCBE は非政治的なアライアンスから政党に変更し, ジェノタン国民議会議員が代表に就任した。

【外政】

- 5日, タロン大統領は, ビボ・カナダ国際発展・フランコフォニー大臣と会談を行った。
- 20日, アベノンシ外務・協力大臣はシンガポールへの実務訪問を行った。

【経済】

- 3日, ダオ(M. Mingsheng DIAO)駐ベナン中国大使は, グランポポの公立小学校に対し, 4教室の校舎及び HUAWEI 支援による情報処理機材の引渡式をおこなった。アベノンシ外務・協力大臣も出席した。
- 15日, タロン大統領は, 7か月前に開始したコトヌ東部海岸護岸工事を初めて視察した。トナト大臣が同行した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, L'économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 6日, ポルトノボ市内の公立学校の生徒は, 共和国警察に囲まれる中, 中等教育・技術職業訓練省ウエメ県事務所に向かい, 公立学校での授業を再開させるために, 公立小中の教員の権利を政府が認めるようストライキを行った。(7日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 7日より, 財務局(Tresor Public)労働組合は, 48時間のストライキを実施する。労働環境に関する11の項目について政府に改善を求めるものである。(7日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 10日, パラクにおいて第2回 FCBE(新興ベナンに向けた勢力)総会が開催された。ヤイ・ボニ前大統領が出席し名誉会長となった。同総会で非政治的な FCBE はアライアンスから政党に変更し, ジェノタン(M. DJENONTIN A.Valentin)国民議会議員が代表に就任, ヤイ氏は名誉代表に就任することになった。(12日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 12日, ウンノンペ共和国警察長官は, 全国の県の本部長のリストを発表した。(13日, Le Matinal 紙)
- ・ 13日より, アボメカラビ・ゾーン病院で72時間のストライキが行われ, 患者に適切な医療サービスを提供出来ていない状況である。(14日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 13日より, アボメカラビ大学の3つの学生組織による72時間のデモが行われた。(14日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 20日, 女性抗議団体による大統領府までのデモ行進が, バリケード等を設置した警察に

よって阻止された。彼女等は女性の処遇改善を訴えていた。(21日, La Nation 紙)

- ・ 27日, パラク大学の2つの学生組織による72時間のデモの開始が発表された。教室数及び教師不足, 論文及びインターンシップの謝金未払い及び新たな奨学金制度への不満等が原因である。(28日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 4日, アベノンシ大臣はコトヌに到着したビボ(Mme. Marie-Claude BIBEAU)カナダ国際発展大臣を迎え入れた。これから3日間滞在し, 二国間関係について意見交換がなされる。(5日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 5日, タロン大統領は, ビボ・カナダ国際発展・フランコフォニー大臣と会談を行った。カナダとベナンは, 1960年より国交があり, 92年には政治, 外交, 経済, 社会及び安全保障の各分野の発展に関する総合的な協定を結んでいる。今回の同大臣の訪問は, 特に貧困削減, 二国間協力による様々な計画を通じての女性・若者の生活環境改善等が目的である。(7日, La Nation 紙)
- ・ 15日, ルモワン(M. Jean baptize LEMOYNE)仏外務省付国務長官はタロン大統領を訪問し, 3月6日にマクロン大統領がタロン大統領の公式訪問に招待する旨述べた。(16日, Le Matinal 紙)
- ・ 19日, ゾス(M. Emmanuel Zossou)ポルトノボ市長は, 駐ベナン・ナイジェリア大使を訪問し, ナイジェリア南西部オスン州と同市で近いうちに協定を結ぶ事を約束した。(20日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 20日, アベノンシ外務・協力大臣はシンガポールへの実務訪問を行った。二国間協力を深めるとともに, 官民両分野において観光及びセメ・シティ計画等 PAG への資金援助機関を探るのが目的である。(21日, Le Matinal 紙)

【治安】

- ・ 1月31日, アリポリ県のセバナでラッサ熱が発生し1名が死亡, 1名が治療を受けている。(1日, Le Matinal 紙)
- ・ 1日より, ギニア湾コトヌ沖合に停泊していた22人のインド人を乗せたタンカーが消息を絶った。(5日, L' Evénement Précis 紙), 6日, 同タンカーが発見された。(7日, 各紙)
- ・ 3日午前6時頃, ポベ市アグベレ(Agbélé)地区において, オートバイで移動中のベナン人3名がナイジェリアから来た遊牧民に刃物で切りつけられた。動機は不明であるが, 事件前日に遊牧民が地元農家のパームの木を折ったことが原因で地元住民と口論になっていた。(6日, La Nation 紙)
- ・ 6日, カリママ市ビルニラフィア(Birni-Lafia)地区において, 火災により, 20トンの綿花が焼失した。(8日, La Nation 紙)
- ・ 6日, アバンニズン(Agbangnizoun)市リッサズメ(Lissazounmè)において, 詐欺容疑者宅に警察が踏み込んだところ, 容疑者及び家族が抵抗し, 警察が発砲した。同宅にいた女性2人が死亡した。(7日, La Nation 紙)

- ・ 9日夜から10日にかけて、コトヌ市 Haie-vive 地区でレバノン人男性1人と警備員1人が殺される事件が発生した。犯人は未だ逃走中である。(12日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 11日, パラクの綿花開発公社(SODECO)駐車場にて綿花を積載していたトラック4台から出火し計100トンが燃えた。現在消し止められているものの出火の原因は不明である。これらの車両は、1か月ほど前から積み荷を降ろすために待っていた。(14日, La Nation 紙)
- ・ 11日, ポルトノボ市のズンジ(Zoundji)村において、殺人被疑者5名が検挙された。被疑者は男1名, 女4名であり, 男はお守りを作る職人であった。3日, 女性被疑者が被害女性を言葉巧みに男性被疑者宅に誘い込み, 男性被害者が女性をレイプした後, 深夜, 森の中に連れて行き刃物で殺害した。遺体から血液及び臓器が取り除かれていた。また, 10日, 12歳の娘がレイプされた後, 森林へ連れて行かれたが, 被疑者等の隙を見て逃走し付近をパトロール中の市職員に保護された。娘は病院で治療中である。(12日, La Nation 紙)
- ・ 11日, アバンニズン(Agbangnizoun)市において, 農家1名が同プル族の牛飼いに殺されたとし, プル族の牛飼いと同市民の間で暴動が起き, 牛飼いや4名が殺された。(14日, La Nation 紙)
- ・ 12日, アトランティック県のトブラ県知事は, 車道や歩道の交通の妨げになり, 危険ということで, コトヌ市での交差点での路上販売や立ち売りを禁止する法令を発布した。共和国警察が取り締まり, 遵守しないものは罰金を支払うことになる。(20日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 13日, ボイコンの線路上で刃物による無数の刺傷を負った20歳前後の男性の死体が発見された。殺された後, 事故に見せかけるため線路上に放置されたと考えられている。(14日, La Nation 紙)
- ・ 17日, タンゲッタ(Tanguiéta)市において, 地元猟師達がペンジャリ国立公園の動物管理規制により, 猟道具を没収された事に異を唱え, 南タンゲッタからサン・ジャン・ド・ドウ病院間の国道3号線に岩, 倒木, タイヤを燃やすなどし, バリケードを設置した。また, 同公園の管理を委託されている NGO の African Network の所有する車両が破壊された。この騒ぎで猟師2名が大けがを負った。(19日, La Nation 紙)
- ・ 19日, ロコサ市アガメ(Agamè)地区において, 砂利を運送していたダンプカーが自動車修理工場に突っ込み男性1名が死亡した。ブレーキの不具合が原因と見られている。(20日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 共和国検察は, Came, UBPHAR 等5つの物流会社の幹部に対し, 不正薬品取扱いの容疑で勾留状を発行した。現在逃亡しているアタオ(M. Atao Hinnouho)国民議会議員の協力者2名についても同様の処置が執られることになる。(21日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 25日, アボメカラビにある映画俳優のヤジヨ(M. Prince Yadjo)宅に強盗が押し入り, 自動

車と現金や小切手が入った鞆が盗まれた。同氏宅は1月16日にも強盗被害に遭っていた。(26日, L' Evénement Précis 紙)

- ・ 26日, コトヌ市サン・ミシェル地区のDiamond Bank のすぐ側で, 走行していた自動車が動かなくなり, ボンネットから出火した。怪我人はいなかったが, そのさなか, 自動車から盗みを働こうとした若者1名が逮捕された。(27日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 26日, パラク裁判所第一審判決により, パラク警察犯罪対策班5名に対し, 自動車技術者殺害容疑で収監状が提出された。19日, 同警察官らは, 運転中の携帯電話使用の罪を免れようと逃走を図った自動車技術者に暴行し殺害した。(28日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 1月31日, 閣議において, SBEE の電力発電所の改修事業の実施が決定された。ジョベヌ法務大臣は記者会見にて, 2016年よりナチテング, パラク, ポルトノボの発電機15台について改修工事している旨説明し, 今回未実施であった発電機5台について, 機材購入・改修実施が決定された。(1日, La Nation 紙)
- ・ 国税局はアジャボン氏の企業に対し, 2014年~16年の間の同企業の活動に対し, 約1, 558億 FCFA の税金未払い分の支払いを通達した。(2日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 2日, セイドゥ保健大臣は, CNHU に対し医療機材の供与を行った。同供与は AFD による小児・母子保健支援の一環で, 外科機器, 小児・母子保健分野機器, 総額2. 27億 FCFA 分にのぼる。(5日, La Nation 紙)
- ・ 3日, ダオ(M. Mingsheng DIAO)駐ベナン中国大使は, グランポポの公立小学校に対し, 4教室の校舎及び HUAWEI 支援による情報処理機材の引渡式をおこなった。アベノンシ外務・協力大臣も出席した。(5日, La Nation 紙)
- ・ 8日, アタナソ高等教育・科学技術大臣及びピオ・チャネ計画及び開発担当国務大臣は, ケトゥ国立農業大学の校舎及び管理棟の引渡式を行った。総工費は約60億 FCFA である。(9日, Le Matinal 紙)
- ・ 15日, タロン大統領は, 7か月前に開始したコトヌ東部海岸護岸工事を初めて視察した。トナト生活環境・持続的発展大臣が同行した。(16日, La Nation 紙)
- ・ NGO の Transparency International が, 腐敗認識指数(IPC)を発表した。ベナンは, 180か国中85位で, アフリカでは5番目だった。アフリカの平均指数が32であるのに対し, ベナンは39であった。(23日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 20-21日, ネット(M.Oliver Nette)新EU大使は, 供与金の約70%が地方公共団体の予算支援に直接充てられることから, アボメカラビ, ダッサズメ及びトッフオ県の地方視察を行った。EUは7年間で2, 500億FCFAを支援することとなっている。(3月1日, La Nation 紙)
- ・ 23日, ゴロ・ジベ第2中学校において, 日本の援助による校舎2棟及びトイレ棟1棟の建設に関わる署名式が行われた。供与額は約9, 247万 FCFA である。(26日, Le Matin Libre 紙)

【文化・その他】

- ・ 1日, 中国文化センターにおいて, 中国新年祭の開会式が行われた。中国貴州から来た49人の少数民族の人々により, ユネスコ文化遺産に登録されている Dong のコーラスなどが披露された。(7日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 10日, コトヌスポーツ・余暇センターにおいて, 中国文化センター及びベナン卓球連盟が, 中国新年を祝う一環で卓球国際トーナメントを開催した。(12日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 16日, 中国の新年である狗年祝福祭が開催された。(19日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 22日, Espace Tchifにおいて, 中国の新年祝福祭の一環で, 「15の中国文化」と題し, 展示会のヴェルニサージュが行われた。Espace Tchif と中国文化センターの協力は初めてで, 10日まで開催される。また, 3月7日には, 映画が上映される。(26日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 24日, 中国文化センターにおいて, 中国の新年祝福祭の一環で, 彫刻家ジク(M. Charly Djikou)氏などベナン人芸術家4人の作品の展示が行われた。(26日, Le Matin Libre 紙)